

社会福祉法人 文京槐（えんじゅ）の会



しあわせの木

【槐（えんじゅ）の木】マメ科に属する樹木の名称です。

その葉は殺菌に用いられるなど大切にされており、

「しあわせの木」とも呼ばれています。

22号

発行日 平成29年12月11日

9月～10月

は～と・ピア2 活動風景

9月28日～29日

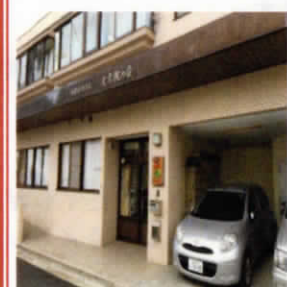
は～と・ピア 茨城旅行



文京区心身障害者・児通所施設合同運動会 ＜↑開催33回目。初めての前日雨天中止↑＞



10月7日（土）、過去32回の実績を誇る合同運動会が、なんと雨天のため初めての前日中止決定となりました。文京区の仲間たちと一緒に競技を楽しめなかったのは残念でしたが、各施設で雨に負けずに運動会気分を楽しみました！



本部 大塚施設

- 【は～と・ピア】
通所生活介護
- 【文京藤の木荘】
短期保護事業
- 【くっしょん】
移動支援事業・居宅介護事業
- 【あくせす】
一般相談・特定相談

住所：〒112-0012 東京都文京区大塚4-21-8
TEL：03-3943-4300



小石川施設

- 【は～と・ピア2】
通所生活介護・就労移行支援
- 【陽だまりの郷1・2】
グループホーム

住所：〒112-0002 東京都文京区小石川4-4-5
TEL：03-6801-8571

【編集後記】

月日の流れはあっという間で、今年も最後の一月となりました。寒暖差が激しく、体調維持が難しい日が続いていますが、皆さまお元気にお過ごしでしょうか。今年度より新たに広報委員会メンバーとなり、ホームページ・広報紙の作成、ボランティア祭りなど地域との交流の場にも参加させて頂きました。法人から皆様に向かって情報を発信していくことの重要性を再認識しています。今後も皆さまにとって興味深い広報紙をお届けできるよう努めてまいりますので、次号も楽しみにお待ちしております！

広報委員会 高谷通代

【お問い合わせ先】

〒112-0012
東京都文京区大塚4-21-8
TEL:03-3943-4300
FAX:03-3943-4330
E-mail: enju@tcn-catv.ne.jp
http://www.enjunokai.com/



「強度行動障害支援者研修」に参加して は〜と・ピア支援員 シュミット・ドミニク

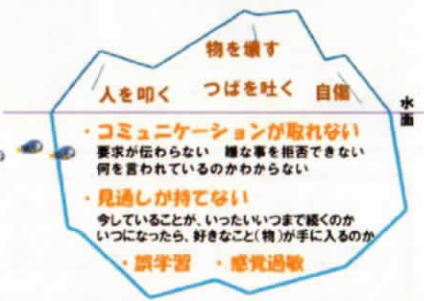
自傷行為や物を壊すなど周囲の人に影響を及ぼす行動が多いことを強度行動障害と言います。どうすればその特性が理解できるのか、なぜこの行動が起こるのか、問題を抱えている利用者へはどうすれば支援ができるのか、これらを学ぶ為に強度行動障害支援者養成研修に参加しました。

強度行動障害の粗暴な特徴が見られる理由には、本人に対し周囲から様々な刺激や情報が入ってくる時、その物事を理解または処理が出来ないことが原因である場合と、物事を伝えたいが手段を獲得しておらず上手く伝わらなかったことが主な原因として挙げられます。また、強度行動障害のある人が自閉症の場合には、物事の考え方や感覚が健常者と違う場合が多く、お互いに理解が難しいという事も理由の一つになります。

お互いの理解を高める為に冰山モデルシートを並べて、色々な情報収集とグループワークを通して様々な検討を行いました。では冰山モデルとはなんなのでしょうか？

私たちが目にする事象は、何の理由もなく生じているものではなく、様々な因果関係のつながりの中で生じていることを冰山になぞらえて表現しているのが「冰山モデル」です。水面上に現れ、氷山の一角として目にすることができるものを「出来事」として捉え、水面下にある「出来事」の要因となる「行動パターン」や行動パターンをひきおこした「構造や環境」、構造や環境に対してどのような価値観・思いを持っていたかという「メンタルモデル」といった、通常では目に見えないものを表現しています。特性と環境、さらに本人の気づき・学習したことの影響の相互作用により「目に見える出来事が起こる」という考え方で、利用者の特性を知り、さらに利用者本人の気づきを知ることが出来てから次のステップでリフレーミングとストレングスモデルを使って支援に繋ぐこととなります。

問題行動の下に隠れているものは？
…TEACCH 冰山モデル



例えば、リフレーミングとはある人を表現するときに「優柔不断で何事も決められないんだよね」とみるか「物事を慎重に考えることができる人だ」とみるかによって同じ人を見ていても異なった認識や気持ちになるということのように、物事や事実は捉え方によってどうにでも変わるということを意味します。

ストレングスモデルは、例えば言葉が話せない重度の知的障がいの人を課題の面からみて表現すると「言葉が話せない人」になりますが、ストレングスモデルでは「表情でコミュニケーションできる人」となるように、できることに着目しようとする考え方です。

私が日頃支援している利用者さんの中にも、気になるもの（円形物等）があるとそれが気になり、またイレギュラーなことが起こるとパニックになり頭部を叩く人がいらっしゃいます。今回学んだリフレーミングやストレングスモデルの考えを実践し、さらなる支援の向上に繋がりたいと強く思います。



居宅・移動支援「くっしょん」
サービス提供責任者
市川 順子 主任支援員

職員紹介

通学や外出など、障害のある皆さんが安全に楽しく外出ができるよう、お手伝いをさせていただいております。通学では学校やお家までの間でのおしゃべり、週末は映画や遊園地、お買い物や外食など、皆さんの嬉しそうな笑顔が私たち職員の支えとなっています。これからも皆さんと一緒に楽しい時間を過ごせるよう、職員一同頑張っていきたいと思います！

委員会活動報告（広報委員会）



11月18日(土)区民センターで開催された「文京ボランティアまつり2017」に参加しました。お天気はあいにくの雨模様でしたが、ご来場くださる地域の皆様は大変多く、大盛況でした。

私たち文京槐の会では、利用者の皆さんが日頃作っているせっけんや香り袋、ビーズをアイロンで加工した小物などの作品や、産地直送の野菜、えんむすびの「秋の味覚弁当」と「フライドポテト」などを販売しました。



結果は完売商品が続出！

お買い上げいただいた皆様に改めて感謝申し上げます。地域の皆様からかけて頂ける「がんばってね」という温かい声、見守ってくださる優しいまなざし、そして様々な人が集まる交流の場を大切にする心。そうした地域の力を改めて実感した1日でした。

障害者虐待防止法について

ほっと安心委員会では障害者虐待防止法の施行にあたり、虐待防止・通報に関するポスターを作成しました。障害者虐待防止法とは、平成24年に施行された法律であり、正式名称は「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」と言います。

また、区市町村と都道府県に「区市町村障害者虐待防止センター」・「都道府県障害者権利擁護センター」の設置をするものとされています。文京区では障害者虐待防止センター（文京区福祉部障害福祉課内）と障害者基幹相談支援センターが主な相談先となっています。

文京槐の会では、虐待防止の研修への参加、セルフチェックリストの記入等、日々虐待防止に努めています。

本ポスターの作成にあたり、虐待防止について、より深く勉強することが出来ました。これからも文京槐の会を利用される皆様がホッと安心して過ごせるよう、ほっと安心委員会一同、努力していきたいと思っております。

